



# News Letter



第9号

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel:06-6263-9753, Fax:06-6263-9773  
 http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@takenaka.co.jp

### 新年パーティ 2006年1月20日(金)

大阪日米協会と大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会、大阪・シカゴ協会共催の新年パーティが、200名以上のご参加を頂いて、リーガロイヤルホテルで盛大に開催されました。竹中会長の挨拶、ラッセル総領事の来賓挨拶に続いて、ライコク領事、天江大使、井越大阪市助役、大阪・シカゴ協会の足立会長、大阪日米協会の松下副会長、バート副会長らによる恒例の鏡開きが行われ、井越助役のご発声で乾杯しました。アトラクションとして、観世流のシテ方、武田宗典さん率いる能楽師の方々を招き、大倉源次郎さんの解説の後、能「田村」の舞囃子を上演、新年にふさわしい雅な舞台となりました。また、三角くじ、福引抽選会には、今年もアメリカ総領事館や法人会員各社から素晴らしい景品を多数頂戴しました。ご協力くださった皆様に、心より御礼申し上げます。



「ニューヨーク見てきます」

伊庭 文子 さん(京都市)

厳寒の新年には珍しく快晴の1月20日夜、恒例の三協会共催の新年パーティが開かれた。アットホームな集りに、今年も母娘で出席。アトラクションは協会には珍しく能楽が演ぜられたのは、ユネスコ第1回世界遺産認定を得た日本伝統文化を認識してのことと、観世流能「田村」の抜粋を興味深く観能した。華麗勇壮な舞囃子がホールに反響したのは心地よかった。そして、待望の行事「新春くじ引き」が始まった。「これが最後です。137番」司会者の声に私はファート立ち上り、正面壇上にのぼっていた。「アメリカに行って何をなさいますか?」。係の方の問いに「その後のニューヨークを観てきます」。84才の私にとっては新春早々の素晴らしい贈物であった。



伊庭さん(右)とノースウエスト航空の名山きよみさん

### ラッセル総領事夫妻歓迎昼食会 2005年12月1日(木)

昨年8月に駐大阪・神戸米国総領事に着任されたダニエル・ラッセル氏と夫人の啓子さんをお迎えして、歓迎昼食会をヒルトン大阪で開催しました。100名を超える多くの出席者を前に、総領事は流暢な日本語で、ご自身と日本との関わり、これからの日米関係と関西の果たす役割などについてお話くださいました。関西に着任されたばかりの天江喜七郎大使ご夫妻もお越しくださり、松下正幸副会長のユーモア溢れる歓迎の挨拶もあって、昼食会は終始和やかな雰囲気となりました。ご出席の皆さんには、総領事の気さくな人柄に触れ、会員同士の交流を深める良い機会になったのではないのでしょうか。



## スケジュール

2006年 3月3日(金)

### 昼食講演会 「大工道具とものづくりの心」

講師 竹中大工道具館館長 赤尾建蔵氏

場所 綿業会館(本町)

日本建築を支えてきた大工道具の歴史と、それを築きあげてきた工匠たちの「技と心」について語っていただきます。国の重要文化財である綿業会館の見学も行います。



3月26日(日)

大相撲春場所観戦とワッツ女史の大相撲談義

4月15日(土)

春の日帰り旅行 兵庫～姫路城と灘の酒蔵～

5月13日(土)

関西日英協会共催ゴルフ大会

大阪日米協会の皆様へのご挨拶



特命全権大使  
(関西担当)  
天江喜七郎氏

昨年11月に関西担当大使として着任してから早や3カ月が経とうとしています。私はこれまでの40年近い外務省生活の中で、主にソ連(及びロシア)関係と中近東関係に関与してきましたが、米国の関係では1971年に外務省北米局に配属されて沖縄返還の準備作業に従事し、また今から11年前の1995年から3年間ホノルル駐在総領事として勤務した経験があります。ハワイのホノルル総領事時代は私と家族にとってもっとも思い出深い日々となっています。冷戦下のソ連やイスラム革命下のイランで精神的にも厳しい生活環境にあった私にとって、一年中よい気候に恵まれストレスを感じさせないハワイの生活はまさに「この世の天国」でした。そのような中で、1995年9月2日、米政府主催により太平洋戦争終結50周年記念式典がハワイで挙行されました。米国の在郷軍人会の中には「対日戦勝を祝う行事」とすべきであるとの意見もありましたが、地元の大きな理解もあって「戦争犠牲者への鎮魂と平和の到来を祝賀する行事」となりました。その当日、パールハーバーでは生き残りの元米海軍水兵と真珠湾攻撃に参加した旧日本海軍水兵による懇親会が催され、これを機に毎年ハワイで旧軍人の家族ぐるみの会合が開かれるようになりましたが、米国人の度量の広さを感じたことでした。戦後の60年は、まさに「昨日の敵はきょうの友」を地で行っている時期のように思います。これまで築かれた両国間の信頼関係を次の世代に引き継いでいく努力を私たちは必要とされていると思います。大阪日米協会のご発展を祈念せずにはおられません。

会員便り



フィリップA.カンベラさん  
(神戸市)

お別れのあいさつ  
残念ながら、この場を借りて皆さんにお別れを言わなくてはなりません。私と妻はまもなく日本を離れ、子供と孫たちのいるワシントン州のレッドモンドに移り住むことになりました。ライフスタイルの変化に慣れるには苦労することだろうと思います。私は日本に来て58年余りになります。私たち夫婦は結婚して54年間神戸に住んできました。大阪日米協会の活動にたずさわって40年余り、副会長を務めさせていただきました。お陰さまで多くの日本人の友人ができました。私は寿司が大好きですが、幸い寿司屋はレッドモンドにたくさんあるので、これだけは不自由しないで済みます。しかし、これから大阪日米協会の会合に顔を出せなくなるのは残念ですし、多くの友人に会えなくなるのは寂しいことでしょう。もし、ワシントン州のレッドモンドに来られる機会がありましたら、電話帳で私たちの名前を探してみてください。2006年が良い年になりますよう、私たち夫婦と子ども皆さんのご健康とご多幸をお祈りいたします。



橋詰 裕志 さん  
(ヒルトン大阪)

遠いアメリカ  
アメリカからのニュース、映画、音楽一当時中学生だった私の日常には遠いアメリカから送られてきたアメリカの文化が溢れていました。そして、いつしかアメリカで生活してみたいという思いが、私の心の中にふつふつと芽生えてきました。“アメリカへ行く”という思いを胸に中学、高校時代 自宅では8割以上を英語の勉強に費やしていたように思います。大学3年生の時、念願がかない、アリゾナ州立大学へ交換留学生として一年間勉強する機会を得ました。大学のあるフェニックスは夏場は45℃を超えることも珍しくないくらい暑さですが、冬は比較的温暖で、空気が乾燥しているため大変過ごしやすく、アメリカ全土よりリタイヤしたお金持ちが集まってくる活気のある街でした。アメリカでの1年はあっという間でした。もちろん、学生の私がすべてを吸収するにはあまりにも短い時間でしたが、それでも多くの事を学び、なにより多くの友人を得ました。帰国時の空港で、見送りに来てくれた友人達と涙して別れた事が今でも鮮明に思い出されます。10年後、友人の一人は私の結婚を祝いにわざわざ日本へ来てくれました。そして15年経った今でも、彼らは“いつでもここが自分の家と思って帰って来てくれ”と連絡をくれます。いつか家族4人で、その地を訪れたいと願っています。

ハリケーン被災地日米協会復興支援のご報告

社団法人日米協会 専務理事 久野明子

この度は、会員皆様方からの心温まるご支援のお陰で、予想をはるかに上回る総額3,870,586円の寄付金が集まりました。皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。ご報告までに大変時間がかかりましたのは、被災された日米協会との連絡が思うようにとれなかったこと、また、皆様からの寄付金が現地でのどのように使われるのかをなるべく具体的にご報告したかったために年を越してしまいました。皆様からの支援金は、現地の日米協会の再建のためと、被害を受けた地域の学校のために使われることになりました。皆様にもご賛同いただけると確信いたしております。当協会としまして、このような形でアメリカの友人たちに皆様のお気持ちを伝えることができたこと、本当に嬉しく思います。ありがとうございました。



全米日米協会連合、ニューオーリンズ日米協会からの感謝状



シラフサ米国外務大使から感謝状を受け取る大河原会長と久野理事

日本はアメリカから何を学んだか？



狭川 育久 さん  
(吹田市)

私は以前、ある集会で「日本の国際化」という主題でお話をした事があります。私の知っている限りでは、近代になって日本が門戸を開いたのは3度あったと記憶しております。(1)1853年ペリー提督に率いられて、4艘の黒船が浦賀に現れた後の文明開化の時代、(2)1945年の終戦後の米軍統治、憲法から新しく生まれ変わった新生日本、(3)そして、1991~2年から、約10年続いた国際化の時代、いわゆる失われた10年間。ある人は、この10年間でアングロサクソン化の時代と呼んでいる人もおります。そのいずれもがアメリカと深くかわりあって、我々は多くのものを学んだという事実があります。でも、ひとつ考えてみたいことは、我々日本人はただアメリカの物まねをただで、その精神の真髄にある彼らの心のバックボーンを完全に忘れてしまっているのではなからぬか？ という事です。文明の上澄みだけを真似ても、正義と愛のよりどころとなる彼らの精神を学ばなければ本当の意味での、真に独立した“日本”が生まれないのではないかと。物質文明だけではいざれ行きづまるであらう。日本の外交がふたつに日本の常識は世界の非常識であると言われるが、ここにその原因があるように思われる。ジョージ・ワシントン、トーマス・ジェファーソンやアブラハム・リンカーンを生み出したこの国から、もっと深く精神的に学ぶものがあるはずであります。日本でも、内村鑑三のような人がこの重要性を唱えてきました。今もう一度、このことを真剣に考え直すときがきたのではないかとしきりに思うこのごろであります。

会長のひとりごと



新年パーティにはラッセル米国外務大使、稲葉日本銀行大阪支店長をはじめ多数のご参加を頂き、誠にありがとうございました。皆様のご協力のお陰で終始和やかに進めることができ、年初にふさわしい会となったと喜んでおります。また、ご協賛いただきました皆様にも、厚く御礼申し上げます。本年の予定をご紹介しますと、3月に(財)竹中大工道具館赤尾館長の昼食講演会と大相撲大阪場所観戦、4月に姫路方面への春の日帰り旅行、5月には日英協会との共催のゴルフ・コンペを予定しています。これから気候も良くなって参りますので、是非ご参加の程よろしくお願いたします。これからのような活動を通して、日米相互の親睦を深めることにお役に立ちたいと考えています。今後とも、大阪日米協会の活動にご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

<原稿について>

原稿締切：掲載希望月の前月20日頃  
文字数：日本語⇒500文字程度  
英 文⇒250word程度  
写 真：できればデジタル画像が望ましい  
送 付：郵便、Fax、E-mailにて事務局宛送付

◆新入会員紹介◆

法人会員  
吉本ビルディング株式会社  
代表取締役社長 吉本 五郎右衛門 取締役 吉本 幸司  
専務取締役 河田 剛

個人会員

大石 由紀子(神戸市) 黒田 昌子(京都市) 多田 浩一郎(宝塚市)  
葉田 いつの(西宮市) 小川 統(茨木市)  
細見 有子(泉大津市)

家族会員

投稿規定

- 大阪日米協会の会報誌への投稿(寄稿を含む)規定は次の通りです。
1. 投稿の原稿は日本語と英語でお願いします。
  2. 投稿頂いた原稿は返却しません。但し写真やイラストはご指示に従い返却致します。
  3. 投稿された原稿の選択と原稿の短縮や修正は大阪日米協会の判断にお任せ下さい。
  4. 投稿される原稿は社会的・文化的・芸術的・国際的など、本会の目的に合う内容をお願いします。
  5. 投稿者の中から抽選で粗品を差し上げます。発送をもって、発表に代えさせていただきます。

編集後記

ラッセル総領事ご夫妻の歓迎昼食会、そして新年パーティには大勢の方にご参加いただき、ありがとうございました。パーティの準備にあたって、大阪日米協会はまさに会員の皆様のご協力によって成り立っていることを、身をもって感じました。ご協力いただいた皆さまには、この場を借りて御礼申し上げます。大阪日米協会は、皆様のご協力とご参加によって成り立っています。今後とも、お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。(事務局)

(敬称略)



# News Letter



Vol.9

## 大阪日米協会 / JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

4-1-13, Hom-machi Chuo, Chuo-ku, Osaka, 541-0053, Japan Tel : 06-6263-9753, Fax : 06-6263-9773  
http://www.jaso-1946.com E-mail:jaso@takenaka.co.jp

### New Year's Reception

January 20, 2006 (Fri)

The annual party co-hosted by Japan-America Society of Osaka, Osaka-San Francisco Sister City Association and Osaka-Chicago Association was held at Rihga Royal Hotel with more than 200 guests. Following the JASO President Takenaka's greetings, Consul General gave a speech. Consul Laycock, Ambassador Amae, Osaka Vice Mayor Igoshi, OCA President Adachi, JASO Vice President Matsushita and Burt joined the Kagamibiraki ceremony and Vice Mayor Igoshi made a toast. We invited Noh performers lead by Munenori Takeda from Kanze School. Following Genjiro Okura's explanation, they performed a Noh dance from an item called "Tamura". We received many generous donations from our corporate members and American Consulate General for the lottery and draw. Thanks to your kind support, we had a wonderful New Year's party. We wish you all the best in 2006!



### New Year's Gift

Fumiko Iba (Kyoto)

January 20th was a sunny day rare in the cold month. The New Year's Reception co-hosted by three organizations was held in the evening. I attended this familiar gathering with my daughter as we do every year. I watched the Noh dance performance "Tamura" with great interest. I assumed that Noh was chosen for the attraction because they appreciate the value of the traditional Japanese art proclaimed as World Intangible Heritage by UNESCO. It was pleasant to hear the splendid sound of Noh performance rang through the hall. And then a much-awaited event, the New Year's Lottery began. Finally the MC called out, "This is the final prize! Number 137!" I don't even seem to remember how I stood up and went up to the stage. Asked what I would do in the States, I answered, "I'm going to see how New York has or has not changed since my last visit." At the age of 84 I got a wonderful New Year's gift.



Ms. Inaba (right) with Ms. Nayama of Northwest Airlines

### Welcome Reception for Consul General and Mrs. Russel December 1, 2005 (Thu)

We held a luncheon party at Hilton Osaka to welcome Mr. Daniel R. Russel, who arrived at his post as Consul General in August, and Mrs. Keiko Russel. The Consul General spoke to over 100 attendees in his fluent Japanese about his connection with Japan, current and future Japan-US relationship, and the role of Kansai in it. Ambassador and Mrs. Kishichiro Amae, who had just arrived in Kansai, were also present, and Vice President of JASO, Mr. Masayuki Matsushita, gave a humorous welcome speech. The luncheon went on in an amiable and relaxed atmosphere. Participants enjoyed the opportunity to get to know the Consul General's friendly personality and socialize with other members.



## Upcoming Events

March 3, 2006 (Fri)

### Luncheon Seminar:

#### "Carpentry Tools and Spirit of Craftsmanship"

Speaker: Mr. Kenzo Akao, Director of Takenaka Carpentry Tools Museum

Venue: Mengyo Kaikan Hall (Honmachi)

Japanese traditional architecture owed much to the highly developed techniques and excellent skills of its carpenters and their specialized carpentry tools. (Guided tour of Mengyo Kaikan included)



March 26, 2006 (Sun)

Spring Sumo Tournament &amp; Talk with Ms. Watts

April 15, 2006 (Sat)

Spring Day Trip - Hyogo: Himeji Castle and Sake Brewery of Nada

May 13, 2006 (Sat)

JASO &amp; JBSK Joint Golf Competition



Mr. Kishichiro Amae  
Ambassador Extraordinary and  
Plenipotentiary for Kansai Area

## Greetings to JASO Members

Almost three months has passed since I arrived at my post as Ambassador for Kansai Area last November. I have been mainly involved in the Soviet Union (and Russia) and Middle East during the nearly 40 years of my service in Foreign Ministry. In relation to the United States, I was assigned to the North American Affairs Bureau in 1971 and engaged in preparation for the reversion of Okinawa and also served as Consul General in Honolulu, Hawaii, for 3 years from 1995. Those days in Honolulu were most memorable for my family and myself. Having experienced harsh living environments and mental stress in Soviet during the Cold War and in Iran during the Islamic revolution, the stress-free Hawaiian life with a pleasant climate all year round seemed like a paradise. On September 2nd of 1995, the

US government held a ceremony for the 50th anniversary of the end of the Pacific War in Hawaii. Although some people in the veterans' association argued that it should be called "the anniversary of victory over Japan", with a great understanding and support of the local community, the event was characterized as an "event to commemorate the war victims and celebrate the peace". On that day, the veterans of the US Navy and Japanese Navy who fought in Pearl Harbor got together at a reception in that same place. Since then, a social gathering for the war veterans and their families has been held every year in Hawaii. I was impressed with the broad mind of the American people. The 60 years since the end of the war illustrates that "yesterday's enemies could be today's friends" as they say. It is our responsibility to pass the trusting relationship that has been developed between two countries to the next generation. I would like to express my sincere wishes for the continued success of the Japan-America Society of Osaka.

## Member's Column



Philip A. Campanella  
(Kobe)

## Farewell Message

It is with regret that I take this opportunity to inform the membership that my wife and I shall be leaving Japan in the near future to live in Redmond, Washington, to be close to our children and grandchildren. It is going to be difficult for both of us to adapt to a change of lifestyle. I have been in Japan for over 58 years. My wife and I have been married in Kobe for over 54 years. I have had great pleasure working with the Japan-America Society of Osaka for over 40 years, as vice president. I have had the privilege of making many Japanese friends. As I love "Sushi", fortunately that is one thing I will not miss, as we have many Sushi shops in

Redmond, Washington. I will miss our meetings in the future, and the many friends I have made. Should the opportunity arise and you may be in Redmond, Washington, we may be found in the telephone directory. My wife joins me in wishing you all well and may 2006 bring health, happiness and prosperity to all.



Hiroshi Hashizume  
(Hilton Osaka)

## Distant America

News, movies, music ... there was always American culture brought from distant America in my daily life when I was a junior high school student. A longing to live in America someday gradually grew in my mind. Dreaming of going to America, I probably spent most of the time at home studying English throughout my high school days. My dream came true when I was a junior in college. I got an opportunity to study at Arizona State University for a year as an exchange student. Phoenix, where the university is located, had very hot weather in the summer and temperatures sometimes went over 45°C, but the winter was

relatively warm and comfortable with dry weather. It was a lively town that rich retirees moved into from all over the States. Time flew by. A year was too short for a student to absorb everything, but I learned a lot and, more importantly, made a lot of friends. I vividly remember the tearful goodbye with friends who saw me off at the airport when I went back to Japan. Ten years later, a friend came all the way to Japan to attend my wedding. Now 15 years later, I still keep in touch with my friends in the States. They say, "You can come back anytime. Here is your home." I hope to go back with my family someday.

## Hurricanes Katrina/Rita Relief Donation Report

It is my great pleasure and pride to announce you that the generous donation from members of the National Association of the America-Japan Societies in Japan amounted to ¥3,870,586 by the end of October 2005. As you see in the letter herewith attached from Mr. Samuel Shepherd, President of the National Association of the Japan-America Societies in the U.S., the donations will be properly allocated to the societies most devastated by the hurricanes under his guidance. Thank you again for your kind contribution. Your warm friendship will be remembered by American people in affected communities.

Akiko Kuno, Executive Director,  
The America-Japan Society, Inc.



Thanks letters from NAJAS and the Japan Society of New Orleans



Ambassador Schieffer hands a thanks plaque to Pres. Ohtakawa and Ms. Kuno

## What have Japanese learned from Americans?

I recall the occasion that I have once delivered a lecture with a subject of "Internationalization of Japan" sometime ago. As far as I remember, there has been 3 epoch-making Internationalization initiations that Japan opened its door to the foreign country in the modern history. 1. In 1853 when Admiral Perry made his advent at Urawa straight with 4 black steam ships, thereafter a new era of Civilization of Japan took off. 2. In 1945, when the World War II was terminated, the occupation forces of USA advanced into Japan and controlled the total country including the revision of Constitution, thus a re-born Japan was initiated. 3. Since 1991/2 for 10 years, so

called "the Lost 10 years", Japan has been struggled with a wave of Globalization. Some people call it "the age of Anglosaxonization". At any incidents mentioned above, Japan has been deeply connected with Americans. In fact, we, Japanese have learned so many things from the country particularly of the modern technologies. However, one thing I would like to draw the attention of the readers is that we have done nothing but coping Americans and have completely forgot to look at the spiritual aspect of them which made America so great. In other words, Japanese copied only new technologies, corporate know-how, managerial skills etc. and have not tried to study the Righteousness and the Love of The Supreme, which they have been so earnestly believing. If you do not acquire such most fundamental basis, the independence of the nation cannot be established in a true sense. The materialism alone definitely drives Japan to the dead-end one day. It is often said that Japanese diplomats are often fluctuated, or the common sense of Japanese is absurd in other countries. This is because they do not understand the fundamentals of the other countries. We should study, therefore, the spiritual aspects of Americans who have delegated George Washington, Thomas Jefferson and Abraham Lincoln as the leader of the nation. In Japan, a famous evangelist, Kanzo Uchimura has emphasized the importance of this fact continuously while he was alive. Now is the time that we should take these warnings seriously and should initiate to re-build an independent Japan in a true sense.

## Soliloquy

I was very glad to see Consul General Russel, Ambassador Amae, Mr. Inaba of Bank of Japan, and so many of our members at the New Year's Reception. Thanks to your cooperation, we had a wonderful time in a relaxed atmosphere. I am also very grateful of the generous donations from our members. We are planning a lot of events such as the luncheon seminar by Kenzo Akao, Director of Takenaka Carpentry Tools Museum, and Spring Sumo watching in March, a day trip to Himeji in April, and a joint golf competition with JBSK in May. Spring is coming. Please join us and enjoy our activities!



## Flow of News Letter to be published

Dead Line of Contribution : 20th day of previous month for planned publication  
Number of words : Japanese ⇒ about 500 characters  
English ⇒ about 250 words  
Photograph : Digital picture if possible  
Dispatch Method : Mail, Fax or E-mail to JASO office

## Contribution rules

### Contribution rules on the JASO News Letter

The following are the contribution rules to the JASO News Letter.

1. We would appreciate it, if you would write your manuscript both in English and Japanese.
2. The contributed manuscript will not be returned to you. However, we will return the photographs and illustrations if you wish.
3. Please understand that the JASO Office will judge the selection of the manuscripts among those submitted and also for editing.
4. The manuscript distributed will be in accordance with the aims of the Society, i.e., social, cultural, artistic and international events.
5. Contributors will be awarded gifts, picked by lottery.

## New members

### Corporate Members

Yoshimoto Building Co., Ltd.  
President & CEO: Yoshimoto, Gorouemon  
Executive Officer: Kawada, Tsuyoshi  
Director: Yoshimoto, Kouji

### Individual Members

Oishi, Yukiko (Kobe)  
Hada, Itsuno (Nishinomiya)  
Hosomi, Ariko (Izumotsu)  
Kuroda, Masako (Kyoto)  
Ogawa, Toru (Ibaraki)

### Family Members

Tada, Kouichirou (Takarazuka)

**Notes** We would like to thank all the participants in the Welcome Reception for Consul General and Mrs. Russel and our New Year's Reception. The preparation process of the parties made us realize how much our activities depend on our members. We deeply appreciate the kind cooperation from many of you. Your support and participation keep JASO alive. Please join us in the upcoming events! (JASO Office)